

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス ドダイ		公表日		R8年6月30日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> ・スペースが十分確保されている。 ・利用者に合わせて活動スペースが工夫されていると感じる。 ・静養スペースと運動スペースで分けている。 ・1階2階庭公園等好きなところで過ごせるようにしている。 ・部屋数が多いので人数の分散がしやすい。 	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> ・国の規定に従っている。 ・声を掛け合いながら状態に合わせて配置できている。 ・職員同士で声を掛け合いながら支援している。 ・子どもの人数・状態・活動内容に応じて配置している。 ・1対1の対応もしやすい。(そのため声掛けもしやすいと思う) 	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて視覚支援ツールを使用し危ない場所には目印をつけている。 ・各部屋が目的別に分かれており、分かりやすい環境である。 ・運動部屋、静養する部屋など子どもたちも理解できている。 ・1日のスケジュールをホワイトボードに提示している。 ・必要に応じて視覚支援ツールを使用したり危ない所に目印を付け安全に配慮している。 ・写真、絵カードで各部屋に示している。 	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> ・エアドックを導入している。 ・清潔を保っている。 ・空気清浄機を利用している。 ・毎日の掃除、消毒などを行っている。 	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> ・部屋数が多く子どもの様子に合わせて随時個別に対応できている。 ・個別の学習スペースや身体を休めるスペースが確保している。 ・畳の静養室があり静かな空間で過ごせるように環境整備している。 ・部屋数が多いためしやすい。パーティションや押し入れも活用している。 ・必要に応じて個室として使用できる部屋がある。 	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	1	<ul style="list-style-type: none"> ・計画から振り返りまで継続的に取り組んでいる。 ・ミーティングやモニタリングの会議等で意見を出し合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・PDCAサイクルを用いて業務改善を進める機会を持つことができていない。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	5		<ul style="list-style-type: none"> ・今回が初めてです。 ・初めて行うので出来ていない。 ・今回が初めてなので今年度より公開する。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議等で話し合っている。 ・意見を出し合い、改善につなげている。 ・職員の意見を共有できる雰囲気があると感じる。 ・会議だけでなく日々の支援の中で声に出して話が出来ている。 	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	5		<ul style="list-style-type: none"> ・第三者がいません。 ・入職してから日が浅いため第三者評価については把握できていません。 ・第三者による外部評価をしていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> ・研修に参加している。 ・過去の研修動画を閲覧する時間を確保できている。 ・おめめどうの研修を受け支援に活用している。 	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> ・HPに公表している。 	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> ・会議を行って分析し作成している。 ・支援の評価を行い会議内で意見を出し合い分析と作成している。 ・日々の送迎時に話をしているのと保護者子どもに対して全職員で話をして作成している。 	

適切な支援の提供	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ケース検討会議や日々の話し合いで共通理解できている。 ・ケース検討会議や日々の支援後に話をしている。 ・日々話し合いをしながら支援している。 	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> ・回覧し内容を確認している。 ・いつでも閲覧することができ、計画に沿って支援している。 ・回覧し内容を確認している。 ・計画書を見て支援している。 ・職員間で共有しながら計画し、支援を行っている。 	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚支援ツールを使用している。 	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> ・職員で検討し、設定している。 ・子どもの適性に応じて出来る支援を行っている。 ・その子に合った支援を考え、具体的な内容にしている。 ・利用している子どもの適性に応じ、出来る支援を行っている。 	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> ・常に話し合っている。 ・話し合いの上で立案している。 ・会議を開き話し合っている。 ・全職員で話し合いが難しいが立案をし共有しながら計画を立てている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員同士で相談しながら活動内容を考えている様子が見られます
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> ・意見を出し合っている。 ・様々な活動プログラムを組み立てている。 ・意見を出し合い固定化しないように話し合っている。 ・新しいことを考えて支援に取り入れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の行事やおでかけなど子どもが楽しめる体験を取り入れている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもに合った活動を考え、計画に沿って支援している。 ・子どもの様子に応じて、無理なく参加できるように計画し支援している。 ・長期休みや学校登校日登に応じて支援を行っている。 ・個別と集団とその日の子供の状態で支援している。 ・子どもの状況に合わせて支援している。 	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> ・前日などの話し合い、口頭での伝達で共有し、チームで支援している。 	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> ・報告しあいながら、情報共有できている。 ・その日の支援について振り返り気づきを共有し明日へつなげている。 ・時間のない日もあるが、必ずどのような様子で過ごしているかはLINEや言葉で伝えている。 ・情報を共有し、次の支援につなげている。 	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ケース記録を入力している。 ・ケース記録を作成し、日々検証を行っている。 	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ケース検討会議で見直している。 ・している。 	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの意見を聞きながら自己選択や自己決定を促すとともに、子ども同士の関わりの中で子どもが主体性を発揮しながら参加できるよう支援している。 ・している。 	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びやおやつレク等を通して自己決定、決定が出来るように支援している ・2つを提示し1つを選んでもらう機会を作るよう意識している。 ・自己決定が出来るように写真からのカードで選び伝える支援をしている。 ・選ぶことができるよう支援している。 ・遊びや活動の中でなく、おやつの中で自己決定が出来るようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・おやつや遊びなど子ども自身が選択できる場面を大切にしていると感じます。
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> ・児発管が参加している。 ・児発管が参加しているが、子どもによっては支援者も参加している。 		
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の施設見学等、積極的に取り組んでいる。 ・連携している。 		

関係機関や保護者との連携	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> ・学校でトラブルがあった際は送迎時に情報共有している。 ・随時情報共有できている。 ・情報共有し共有し支援に繋げている。 ・日々の送迎時に話をしている。 	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1	<ul style="list-style-type: none"> ・できている。 	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	5		<ul style="list-style-type: none"> ・卒業後の移行支援に関する取り組みについては把握できていません。 ・対象者なし。・まだ卒業生がいない。 ・まだその利用者がいないため。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2	<ul style="list-style-type: none"> ・研修に参加している。 ・こころんと連携している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・あまりきかない
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	4	<ul style="list-style-type: none"> ・時折アソビバとの交流を持つ機会を作っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・勤務期間が短いため地域交流についてはまだ把握できていません
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	2	<ul style="list-style-type: none"> ・研修に参加している。 ・児発管が参加している。 	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	1	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳やLINE、または送迎時に情報共有を行っている。 ・送迎時や連絡帳も活用して保護者に伝えている。 ・LINE、連絡帳、送迎やお迎えの時に話している。 ・送迎やLINEにてやりとりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他との交流はありません。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3	<ul style="list-style-type: none"> ・対応のしかたについて話をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の要望があった際行えると良い。 ・R7年度はできていない。今年度は負担のない範囲で行ってきたい。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に話している。 ・適宜説明を行っている。 ・している。 	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> ・フェイスシートや面談を通して確認し、作成している。 ・相談員、保護者と担当者会議をして話をしている。 ・面談にて行っている。 	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に丁寧に説明を行っている。 ・説明を行い、同意を得ている。 ・保護者に支援内容を詳しく説明を行い同意を得ている。 ・直接会って伝えている。 ・契約時に責任者が説明を行っている。 	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	3	<ul style="list-style-type: none"> ・年1回保護者交流会を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会などの活動について把握できていません。 ・R7年度は秋に開催し、1名の参加あり。参加しやすいように計画していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情があった際は職員で話し合い、保護者に周知し改善を行っている。 ・HPで発信している。 ・送迎時やLINEなどで行っている。 	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> ・インスタ、HPを活用して月に数回支援の様子を発信しています。 ・HP、インスタ、LINEで情報発信している。 ・インスタグラムやLINEにて伝えている。 ・R7年度秋よりインスタ、活動の中個写真をLINEにて情報を発信している 	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> ・留意しながら行っている。 ・SNSでも保護者に同意をとっている。 	
44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0			

	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5	・イベントがあった際に子どもたちと手作りクッキーを作り、地域の方に配ったり、又散歩の時に挨拶している。	・地域との交流活動についてはまだ経験しておらず、把握出来ていません。 ・まだできていないが、挨拶をしたり、野菜を配る予定。 ・今年度開所したためなかなかできていないので、今後機会を増やしていく
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	・各マニュアルを周知し訓練を行っている。 ・定期的に研修、訓練を行っている。 ・各マニュアルを周知し、訓練を行なっている。 ・保護者用は玄関に掲示している。 ・書庫に入っていて、いつでも見られるようになっている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	・定期的に訓練を行っている。 ・年に3回行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	・職員で情報を共有している。 ・事前に把握し情報共有している。 ・確認し、全体にも共有している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2	・卵アレルギー児はいるが、ドバイで提供される物の中で配慮は今のところないが、対応できるようにはなっている。 ・保護者からの情報提供していただいたものを連絡ノートやミーティングで情報共有している。 ・今はない。	・対象児はいるが指示書は出ていないため。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	・日々安全管理に努めている。 ・安全管理は十分にされている。 ・できている。 ・R7年度は秋冬春に訓練を行った。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	・安全対策で避難場所を入所時に保護者に伝えている。 ・玄関に掲示している。 ・周知している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	・共有後、再発防止に向けた話し合いをしている。 ・閲覧できるようになっており、その都度話し合い、検討している。 ・ヒヤリハットがあった時は記録に残し、全体共有し最厚防止に努めている ・その都度話し合いをしている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	・虐待防止の会議を行っている。 ・オンライン研修を行っている。 ・毎月委員会を行い、話し合っている。 ・委員会にて行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	・委員会にて話し合いを行っている。 ・事前に保護者に説明している。 ・今のところ該当なし。 ・委員会を開催し話し合う機会を作っている。 ・現在身体拘束について該当者はいませんが研修は行っています。		